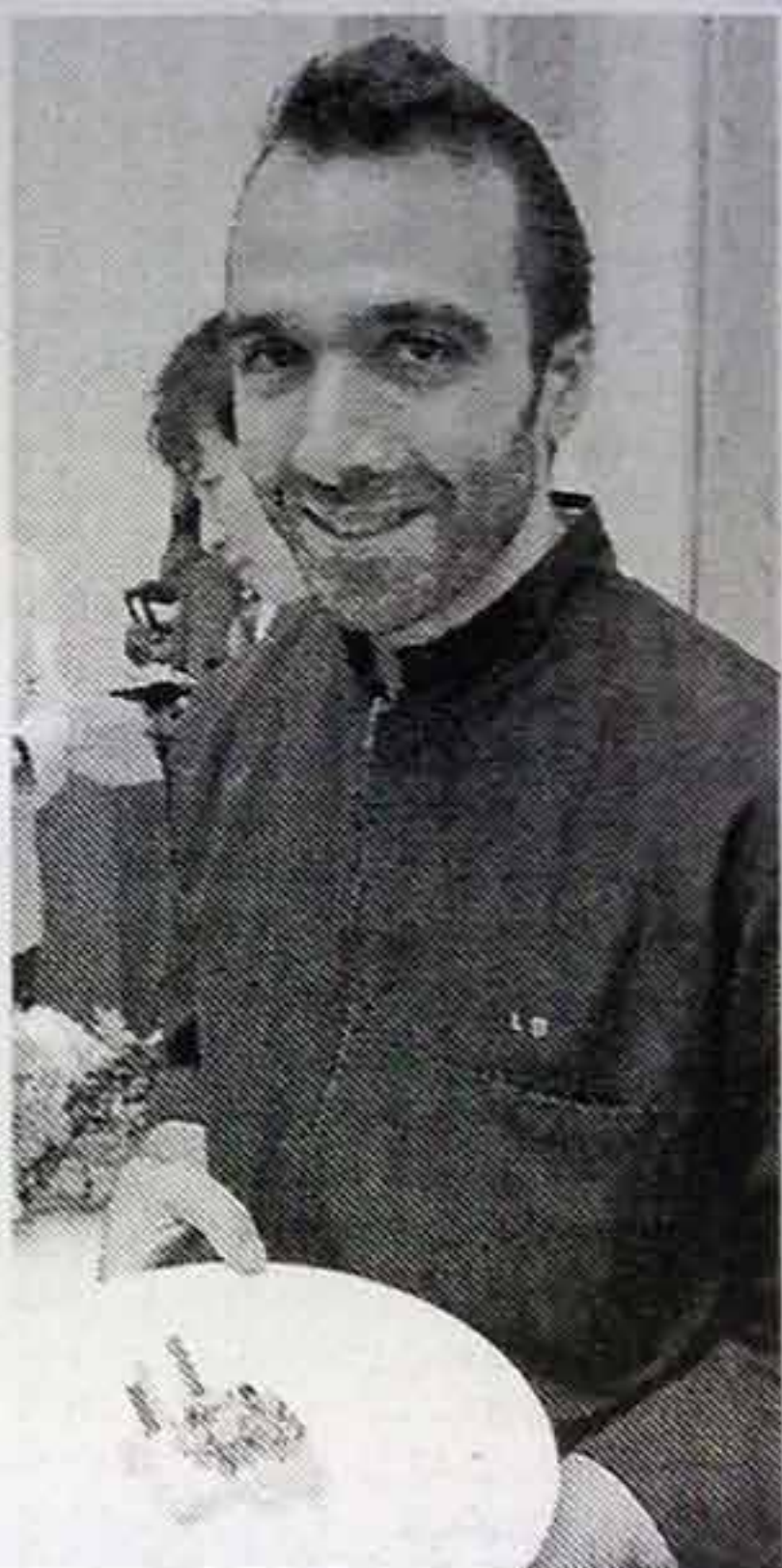
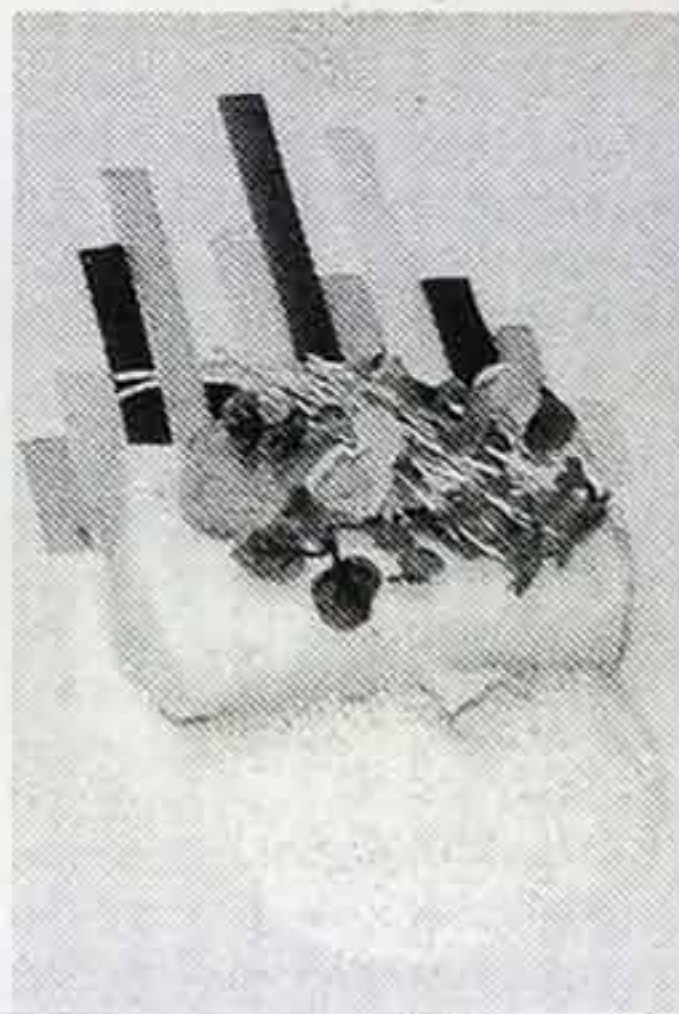


日仏交流、首脳の地元産食材が縁結び

昼食会

安倍晋三首相は7日、来日しているオランダ仏大統領を両首脳の地元食材を使った料理でもてなし、日仏の「縁結び」を演出した。東京・銀座のフレンチ料理店の総支配人で、魚料理を担当したシェフのリオネル・ベカさんが使ったのは首相の地元・山口県産のマナガツオと、大統領の地元ノルマンディー地方特産のシードルだ。

昼食会を総括した「ホテル・ドゥ・ミクニ」の三國清二シェフは記者団に「このデザインは両首脳の人気バロメーター」と冗談を飛ばした。確かに、魚に添えられた細長いポワローネギが支持率の推移を表す棒グラフのようだ。ただその場合、支持率はいったん上がり、やがて下降線をたどることになる。



(松井望美)

①安倍首相とオランダ大統領の地元産食材を使った魚料理について説明するシェフのリオネル・ベカさん
②「ワーキングランチ」でふるまわれた魚料理＝7日午後、首相官邸